

○ 大 村 哲 史 (30分)

【一問一答方式 (1回目から)】

1 本市のグランドデザインについて

- 平成23年策定の都市計画マスタープランの進捗状況と見通しについて
- リーディングプロジェクトの観光行政について

2 有人国境離島法と本市の離島行政について

- 離島4島の振興について (雇用・観光・インフラ等)

○ 宮 島 武 雄

(1 5 分)

【一括方式】

1 重症心身障がい児の支援について

- 現在の取り組みについて
- 重症心身障がい児の短期入所（ショートステイ）について
- 医師不足、看護師不足について

2 施設誘致について

- 障害者支援施設について

3 子どもの安全・安心の強化について

- 子どもの安全・安心の強化対策について（登下校時など）

○ 小野原 茂

(30分)

【一括方式】

1 安全安心な学校の環境整備について

- 登下校時の通学路の安全確保について
- 不審者対策について

2 佐世保市における文化振興について

- 旧佐世保鎮守府凱旋記念館（佐世保市民文化ホール）の活性化について
- 島瀬美術センターの活性化について
- 文字・活字文化振興への取り組みについて

○ 宮 田 京 子 (30分)

【一問一答方式（1回目から）】

1 鹿町温泉やすらぎ館の施設整備に関する計画性について

鹿町温泉のボイラーが1月2日に故障、修理は最短で8月ごろの予定と聞く。復旧までに8カ月を要するのは長すぎる。ボイラーの故障により一月で約1,000人以上の利用者が減少。故障したボイラーは平成15年導入、二つあるボイラーのうち、もう一つも平成13年導入、早晚、故障する可能性あり。その際も今回同様の対応となるのか。指定管理者がその運営の責任を果たすためには計画的な整備が必要ではないか。あるいは、指定管理者との協定書の内容を再確認、運営の根幹をなす設備については即時対応できる取り決めをすべきではないか。

2 各種イベントの経済効果の検証とDMO法人の役割について

佐世保市は観光都市として交流人口の拡大に力を入れている。その中で、YOSAKOI させぼ祭り、させぼシーサイドフェスティバル、アメリカンフェスティバル等の各種イベントは、関係各位の御尽力により、佐世保市のイメージアップに大きな力を発揮している。今後さらなる飛躍のために補助金の効果を数字として検証し生かすことは重要である。検証及び周知の現状を伺いたい。あわせて、DMO法人としての佐世保観光コンベンション協会の専門人材配置と地域経済分析の現状、また、その役割がどのように生かされているのか伺いたい。

3 男女が協力して子育てしやすいまちづくりの実践について

佐世保市の合計特殊出生率は全国平均や長崎県平均を上回っており、数字上、一定の成果を得られている。中央と地方都市では産業構造や背景などがそれぞれに異なり、一律に数字だけで判断しにくい面もあるが、国が示している目標値2.07に近づく努力を我々も総力を挙げて行うべき。少子化対策は不妊治療や所得の問題等多方面にわたると考えられるが、今回は、男女間の育児協力を後押しする施策をどう実現していくか、また、男性の育児休暇取得の現状、産休中の所得問題等、男女共同参画社会を実現する子育て支援策について伺いたい。